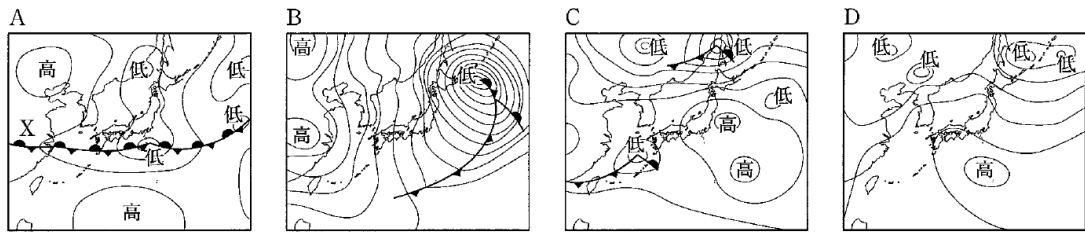


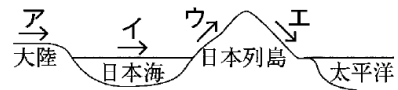
- 3 図1のA～Dは、日本の春、つゆ(梅雨)、夏、冬のいずれかの時期の代表的な天気図である。これについて、あとの問いに答えなさい。

図1



- (1) 図1のA～Dを、春の天気図を最初として季節の移り変わりの順になるように左から並べ、その順序を記号で答えなさい。
- (2) 図1のAの天気図に見られるXの前線について、①Xの南側の高気圧をつくる気団の性質として最も適当なものはどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。また、②その気団を何というか。名称を答えなさい。
- ア あたたく乾いている。 イ あたたく湿っている。
ウ 冷たく乾いている。 エ 冷たく湿っている。
- (3) 図2は、図1のBの時期にふく特徴的な風を表したものである。図2のア～エの空気を乾いた空気と湿った空気に分けたとき、乾いた空気があるところはどこか。すべて選び、記号で答えなさい。
- (4) 図1のCの時期の日本の天気は周期的に移り変わることが多い。これは、日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過することが原因である。このとき、日本付近を通過する高気圧を何というか。名称を答えなさい。
- (5) 次の文は、図1のDの時期にふく特徴的な風について説明したものである。文中の| |にあてはまるものとして適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

図2



この時期には、大陸上の気温が太平洋の海上よりもあたたかくなる。その結果、大陸上の気圧が

- ①|ア 高く イ 低く|、太平洋上の気圧が②|ア 高く イ 低く|なる。そのため日本では③|ア 北西 イ 南東|の風がふくことが多い。

- (1) Aはつゆ、Bは冬、Cは春、Dは夏の代表的な天気図である。
- (2) つゆの時期には、冷たく湿ったオホーツク海気団とあたたく湿った小笠原気団の間に停滞前線(梅雨前線)ができ、日本全域でぐずついた雨の多い天気が続く。
- (3) シベリア気団からふく乾いた北西の季節風は、日本海で大量の水蒸気を含み、日本海側で多量の雪を降らせる。水蒸気が少なくなった空気は、乾いた風となって太平洋側にふく。
- (5) 気圧の高い太平洋から気圧の低いユーラシア大陸に向かって南東の季節風がふく。

(1)	C → A → D → B
(2)	① イ ② 小笠原気団
(3)	ア, エ 順不同完答
(4)	移動性高気圧
(5)	① イ ② ア ③ イ